

福山市地域コミュニティのあり方検討委員会

○開催目的

人口減少社会においても地域コミュニティが持続し、地域づくりに意欲の持てる地域社会の実現に向け、今後の地域コミュニティの運営や必要な支援制度を考える場として開催しています。持続可能な地域コミュニティの在り方をみんなで方向付けていきます。

○委員（五十音順）

| | |
|-----------|----------------------|
| 井上 誠 | 地域づくり塾参加者 |
| 江口 千種 | 福山市PTA 連合会幹事 |
| 後藤 健之 | 地域づくり塾参加者 |
| 佐藤 賢一 | 福山市自治会連合会会長 |
| 橋本 哲之 | 福山市社会福祉協議会会長 |
| 廣田 要 | 福山明るいまちづくり協議会会長 |
| 藤井 眞弓 | 福山市女性連絡協議会事務局長 |
| 古谷 輝昭 | 福山市老人クラブ連合会副会長 |
| 真室 明美 | 福山市福祉を高める会連合会副会長 |
| 村田 政雄 | 福山市公衆衛生推進協議会副会長兼事務局長 |
| 吉田 美砂 | 福山市子ども会育成協議会事務局長 |
| 委員長 渡邊 一成 | 福山市立大学教授 地域連携フェロー |
| 渡邊 千裕 | 地域づくり塾参加者 |

○オブザーバー

櫻井 常矢（福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザー）
澤 尚幸（福山市政策アドバイザー）

○開催スケジュール

※会議時間はいずれも1時間30分

- 第1回 8月29日（木）19時30分～ 地域活動の負担感を共有，改善策の検討
- 第2回 9月19日（木）19時30分～ 地域支援の在り方の検討
- 第3回 10月28日（月）19時30分～ 地域組織の在り方の検討
- 第4回 11月23日（土・祝）14時～ モデル事業の共有，これからの地域コミュニティの在り方を検討
- 第5回 1月20日（月）19時30分～ 検討委員会の意見をとりまとめ，市長へ報告

※3月頃に「（仮称）これからの地域づくりを考えるシンポジウム」を予定

第2回福山市地域コミュニティのあり方検討委員会

○日時

2019年（令和元年）9月19日（木）19:30～21:00

○会場

福山市役所本庁舎3階 中会議室

○プログラム

1 開会

- ・第1回検討委員会ワークショップの振り返り
- ・地域支援の現状について

2 意見交換（ワークショップ）

- ・地域支援のあり方について

○第1回検討委員会ワークショップの振り返り（渡邊委員長）

小学校区単位での地域活動の現状を共有したうえで、「良いところ」「負担になっていること」、「負担を取り除くために必要なこと」についてワークショップ形式で議論し、改善点や見直すことについて、「地域」と「行政」の役割という視点で整理した。

○会議内容

- ・ワークショップ形式による意見交換

テーマ 地域支援のあり方の検討

目標 これからの地域支援制度について考える

①「活用している地域支援（ヒト・モノ・カネ）」についての主な意見

- ・社会福祉協議会助成金（ふれあいいきいきサロン等）
- ・見守り活動をする人（高齢者対象，登下校）
- ・生活支援をする人（困りごとの手助け）
- ・おでかけ支援（補助金，運転ボランティア）
- ・いきいき百歳体操（器材貸出，実技指導）
- ・自主防災組織活動費，防災資器材の貸与
- ・街灯設置，防犯灯の電気代
- ・資源回収補助金
- ・公園清掃等維持管理費
- ・河川清掃，河川美化（県）の補助金
- ・緑化樹木配布（ばら苗）
- ・市民活動総合補償保険制度
- ・団体への活動補助金
- ・商工会議所，義倉，宝くじ等の助成金
- ・まちづくりサポートセンター（情報や人材の支援） 等



② 「足りないもの・足りないもの」についての主な意見

【足りないもの】

- ・ 煩雑な事務手続（補助金の申請や報告の手続）
- ・ バラバラな申請，相談窓口

【足りないもの】

- ・ 情報（各種助成・支援，補償制度の詳細なPRが必要）
- ・ ファクシミリ設置，Wi-Fi 設備，電子町内会等
- ・ 人材（活動する人，つなぐ人，仕組みをつくる人，コミュニティソーシャルワーカー C S W 等）
- ・ 活動する人の特典（有償ボランティアの仕組み，交通費等の活動費）
- ・ マンション住民が自治会加入する仕組み
- ・ 高齢者へのタクシー券配布方法の見直し（民生委員活動が負担）
- ・ 事業継続のための財源，各種団体への補助金（使途の見直し含む）
- ・ 相談できる部署 等

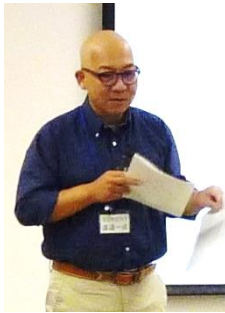


③ 「あったらいいと思う支援」についての主な意見

- ・ 公民館体制の充実（地域のまちづくりを支える力）
- ・ 公共施設等の設備の充実（ファクシミリ，Wi-Fi 設置）
 - IT を使うことも必要だが，人とつながる（相手と会う）ことも必要であり，バランスが重要
- ・ 書式の改善（市へ提出する書類は難しい）
- ・ 自治会加入支援（特にマンション），自治会加入について条例化
- ・ 防災意識の高揚（普段からの声かけ）
- ・ 隣近所や人と人のつながりの大切さを行政がアピール
- ・ バラバラな窓口（申請・相談）を統一
- ・ 経験者を育てるシステム作り（人財大学の出前講座等）
- ・ 助成金，補助金等
- ・ LED 防犯灯取替時の補助制度
- ・ 「つなぐ人」「仕組みをつくる人」「専門性のある人」の育成・派遣
- ・ 活動する人への特典（有償ボランティアの仕組み，交通費等の活動費）
- ・ 活動できる場
- ・ 活動しやすい設備（プロジェクター，レコーダー等） 等



○委員長コメント（ワークショップまとめ）



- ① 地域活動に活用できる助成・支援制度が分かりにくい。「地域のやりたいこと」から、どんな助成・支援制度があるかがわかる、「逆引きマニュアル」のようなものが必要では。
- ② 人材がないわけではない。人と人を積極的に繋いでいくことが大事。
- ③ 無償で頑張ってもらおう部分もあるかもしれないが、地域づくりを頑張っている人には対価を支払っても良いのではないかと。コミュニティビジネスを展開するのも良いと思う。
- ④ ICT時代の地域支援、地域活動のあり方を若い人も含めて考えていくべきではないか。時代は変化している。どれだけ労力の軽減ができるかが大事であり、時代の流れに乗って制度を見直すことが大事。